

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第40週（令和7年9月29日～令和7年10月5日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

第40週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が10件ありました。本疾患の病原菌は、ペロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌で、症状は、激しい腹痛を伴う水溶性下痢、血便、嘔吐、発熱等です。本菌は、菌に汚染された食品等の摂取のほか、患者便に含まれる菌が手指を介することによってもヒトからヒトへ感染します。菌が付着した食品等の摂取による感染を防ぐために、調理の際には食品を十分に加熱（中心部が75℃で1分以上）するとともに、焼肉やバーベキュー等では、生肉専用の箸やトングを使い、食べる箸と使い分けましょう。また、感染しても全く症状がない場合があり、知らずに他の人に感染させることがあるため、調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	13	573	208	10,511
腸管出血性大腸菌感染症	10	228	96	3,074
E型肝炎	1	5	6	431
デング熱	1	9	4	124
レジオネラ症	1	56	55	1,753
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	58	15	1,063
後天性免疫不全症候群	1	35	13	633
梅毒	8	572	147	10,431
播種性クリプトコックス症	1	9	2	128
百日咳	37	2,920	1,001	79,279

## ■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	512	4.20	0.70	22,640	5.87
インフルエンザ	242	1.98	1.28	4,030	1.04
急性呼吸器感染症	6,531	53.53	1.06	210,468	54.70
RSウイルス感染症	214	3.06	1.04	3,546	1.51
咽頭結膜熱	40	0.57	1.14	632	0.27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	216	3.09	1.33	3,508	1.49
感染性胃腸炎	374	5.34	1.06	8,615	3.67
水痘	12	0.17	0.71	507	0.22
手足口病	21	0.30	0.68	933	0.40
伝染性紅斑	148	2.11	0.94	2,869	1.22
突発性発しん	34	0.49	1.26	659	0.28
ヘルパンギーナ	7	0.10	0.78	1,380	0.59
流行性耳下腺炎	6	0.09	3.00	125	0.05
急性出血性結膜炎	1	0.04	—	9	0.01
流行性角結膜炎	42	1.62	1.08	741	1.06
細菌性髄膜炎	1	0.07	—	3	0.01
無菌性髄膜炎	3	0.20	3.00	26	0.05
マイコプラズマ肺炎	6	0.40	0.60	616	1.28
クラミジア肺炎	0	0.00	—	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	—	1	0.00